

つむぐ戸塚のいまむかし vol.6

ちょっと昔の「とつか」のお話
あの場所で昔あった、
「あんなこと」「こんなこと」…
地域の皆さんに聞きました

下倉田町にある、長さが3.5メートルもある「南谷戸大わらじ」。
「横浜市地域有形民族文化財」に指定されています。
保存会「南谷戸和楽路会」会長の根本さんにお話を聞きました！



根本 茂さん

「大わらじ」について教えてください！

この地域は、東海道から枝分かれした「鎌倉道」沿いにあります。戸塚宿から「かいがら坂(今の栄区)」までの間は休憩する場所もなく、当時の旅人や村人は現在大わらじのある場所にあった道祖神付近で休憩し、わらじを履き替えてから坂道に向かっていったようです。履き替えたわらじを、そばにある木にかけて道中の安全を祈願したのでしょうね。

現在架けられているのは全長3.5メートル、重さ200kgもある大きなわらじ。作り始めたのは大正初期からで、今でも3年か4年に1回架け替えています。一見、片足分に見えますが、裏側にもう片足分あるんです。

1963(昭和38)年から今のような鉄骨の檣に架けるようになりましたが、当初は松の木に吊るされていて、吊るされた大わらじをブランコのようにして遊んだという話を地域の先輩から聞いたことがあります。



▲大わらじの奉納(昭和49年)

▲大わらじの奉納(昨年)

「大わらじ」を守っていくために大変なこと、大切にしていることは何ですか？

架け替えをするための大わらじを作るには、2トントラック1台分の藁が必要なのですが、この藁の確保が大変なんです！もともとは地域の田んぼの藁を使っていました。小学校に田んぼがあった頃は学校からもらっていたこともありましたが、田んぼが無くなってしまった今では、吉田町や田谷(栄区)の農家の稲刈りや脱穀作業に協力して分けてもらっています。

「南谷戸和楽路会」は、もともと大正初期にできた地域の集まりで、大わらじの保存管理だけでなく、地域の助け合いや地域活動の推進にも力を入れてきました。今でも七夕など子どもや家族連れで参加できるイベントを開催して地域のつながりづくりを意識しています。それまで「口づて」だった大わらじの作り方を手順書にまとめたりもしています。これから「大わらじ」を若い世代の人たちに繋いでいくためにどうするか、地域の人たちとどう関わっていくかが一番大切だと思っています。そのときの時代に合う方法を探しながらこれからも取り組んでいきたいと思っています。



▲昔はこの辺りに田んぼがたくさん...

区役所企画調整係 (Tel) 866-8326 (Fax) 862-3054

わたしのまちのすてきなところ! Vol.2

戸塚区で暮らし、学び、働く人が「こんなまちにしたい」という思いを形にして、よりよいまちづくりを目指すための「とつかハートプラン(戸塚区地域福祉保健計画)」を知っていますか？
そんなハートプランにつながる区内18地区のすてきな活動とスローガンを数回にわたってご紹介します！



▲詳しくはこちら



とつかハートプランマスコット「こころん」

親子のハートを「ぼっ」と明るく

柏尾地区

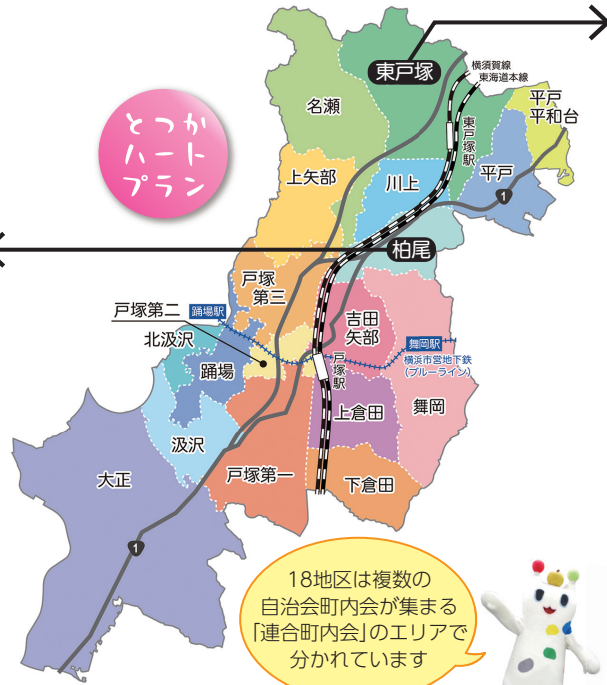
柏尾地区で行う子育てサロン「ハートぼっぼ」では季節の楽しいイベント盛りだくさん。兄妹で行っても、それぞれが楽しく過ごせるように下の子を「抱っ子隊」がサポートします。支援者は研修や他の活動に参加し、年齢にあった支援をしっかり学んでいるんですよ。地域で楽しく子育て支援をしています！

地域で声を掛け合う仲に☆



この地区のスローガンは

かたいきずなど、しんらいで、おたがい仲良く地域の「わ」



とつかハートプラン

18地区は複数の自治会町内会が集まる「連合町内会」のエリアで分かれています

秋空の下、ウォークラリー

東戸塚地区

昨秋に、東戸塚地区第3回ウォークラリー大会を開催。2歳から80歳まで34人が元気に歩きました。東戸塚の昔の話や由来クイズを楽しみつつ、参加者に「ハートプラン」がどれだけ浸透しているかアンケートを取りました。これからもハートプランの思いが地域の中に根付くように取り組んでいきます。

たくさんの人に広めたい!



この地区のスローガンは

みんなが気持ちよく、安心して暮らせるまちを、みんなの力で

区役所事業企画担当 (Tel) 866-8424 (Fax) 865-3963

人と猫が仲良く一緒に暮らすために

猫の飼い主に守ってほしい

3つの約束

① 部屋の中で飼いましょう

屋外では交通事故や感染症、猫同士のけんかなど、けがや病気の危険があります。また、ふん尿の被害などのご近所トラブルが起こる可能性もあります。飼い猫のためにも室内飼育をしましょう。



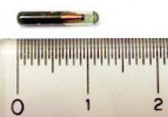
おススメポイント

キャットタワーなどで高低差を作ると室内でも快適に過ごせます。

② 飼い主がわかるものを身につけさせましょう

万が一飼い猫が逃げてしまった時にも、無事に家に帰れるよう、首輪や迷子札を着用させましょう。また、マイクロチップを装着しておくと、首輪などが外れてしまっても飼い主を特定することができます。

▼マイクロチップ



③ 世話ができる数で飼いましょう

飼っている猫の数が多くなれば、それだけ手間や時間、費用も多くなり、鳴き声など近隣への配慮も一層必要です。管理できる数を超えないように不妊去勢手術をおすすめします。不妊去勢手術には、生殖器系の病気予防効果や、発情期特有の悩み(マーキングや大きな鳴き声)を解決するなどのメリットもあります。

一生一緒にいてくれにゃ



ペットが命を終えるまで責任と愛情をもって飼育しましょう。

区役所環境衛生係 (Tel) 866-8476 (Fax) 866-2513